

H29の工事について

中池の管理用通路の工事について

中池の管理用通路の工事について

- 中池の国有地の管理用通路の工事を平成29年の9月から平成30年の1月に行います。（看板の整備は、平成29年度に内容を検討した結果を受けて、平成30年度に整備を予定します。）
- 中池の管理用通路は、現地の測量の結果を受けて、車両の通行ができる3mの幅、水際にアクセスできるルート設定、車椅子が通行できる5%以下の勾配および温度上昇の少ないウッドクリート舗装とします。

通路の整備によって発生
する残土を、土砂の仮
置場に搬出する。
※モトD掘削時にも仮
置き済み

ウッドクリート舗装

- 幅員3m（車両通行可）
- 車椅子に配慮し、勾配5%以下で滑りにくい材質
- 保温性に優れ日中の温度上昇が低い
- 周遊路延長約700m
- 短絡路延長約150m

水際のアクセス路への
転落防止柵の設置

幅員3m確保するためには現通
路を拡幅すると18本の伐採が必
要となるため、現通路よりも堤
内側の竹林内を通すこととしま
した。（次頁以降参照）



出典：NETIS HP



③地点から水面を望む

残土の搬出ルート

車止め

中池の管理用通路の工事について

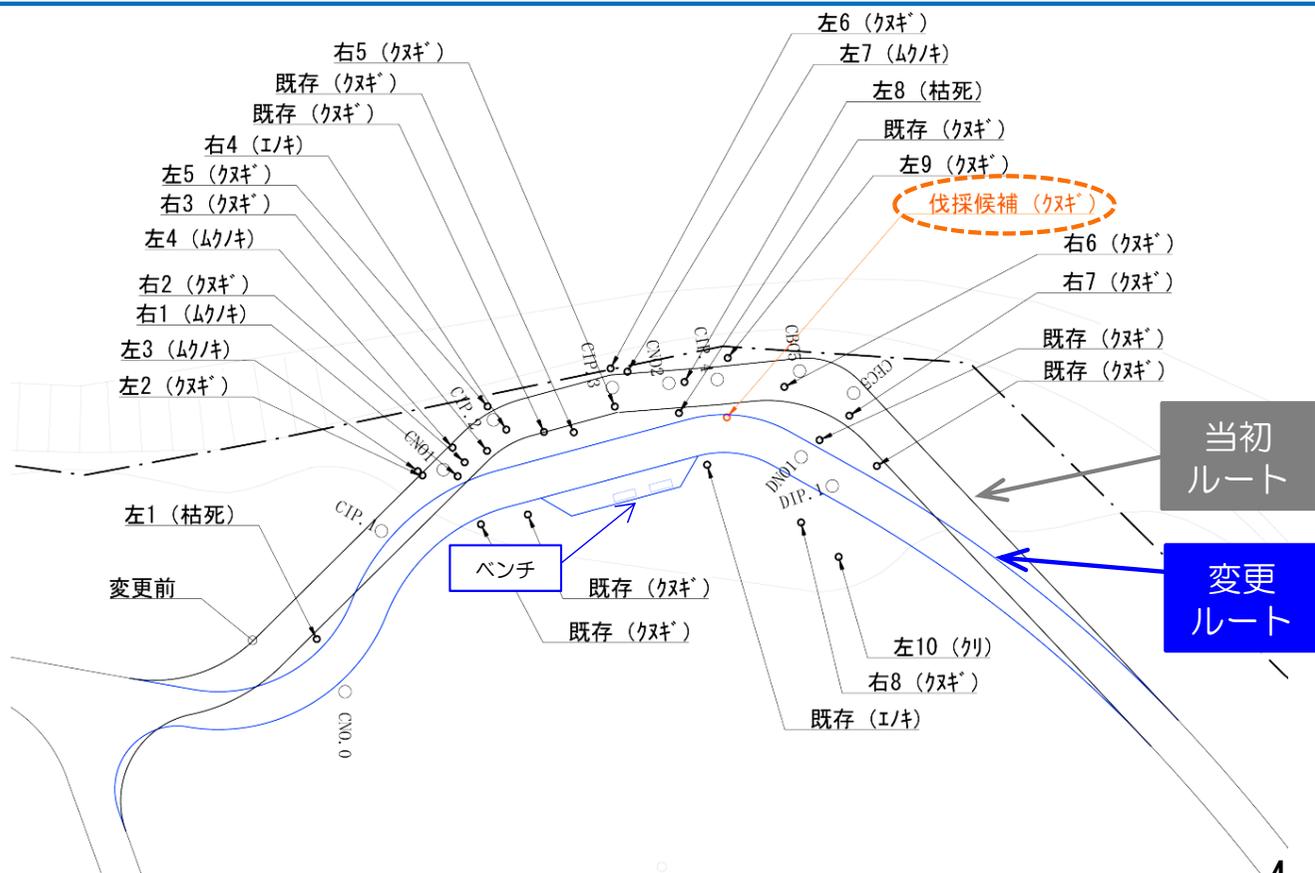
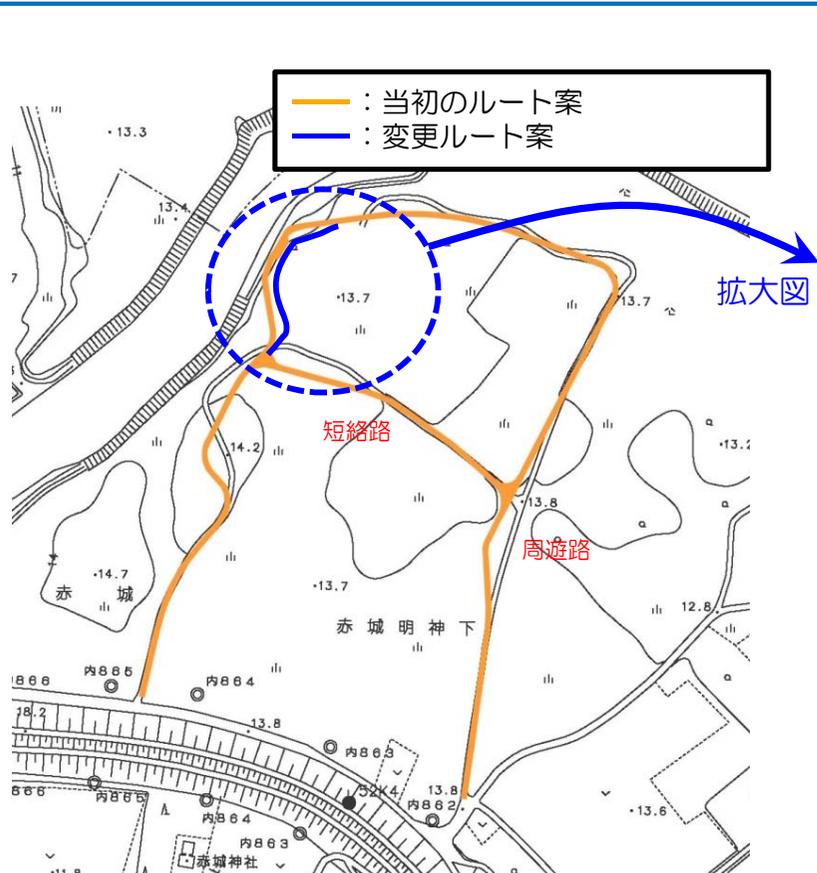
当初のルート案（下右図の黒線）

- 道路中心から両側1.5m以内（幅員3m）には枯死木を含め合計18本の樹木が存在していました。
内訳：クヌギ10本、ムクノキ4本、クリ1本、エノキ1本、枯死2本
- 樹木の直径は10～40cmでした。



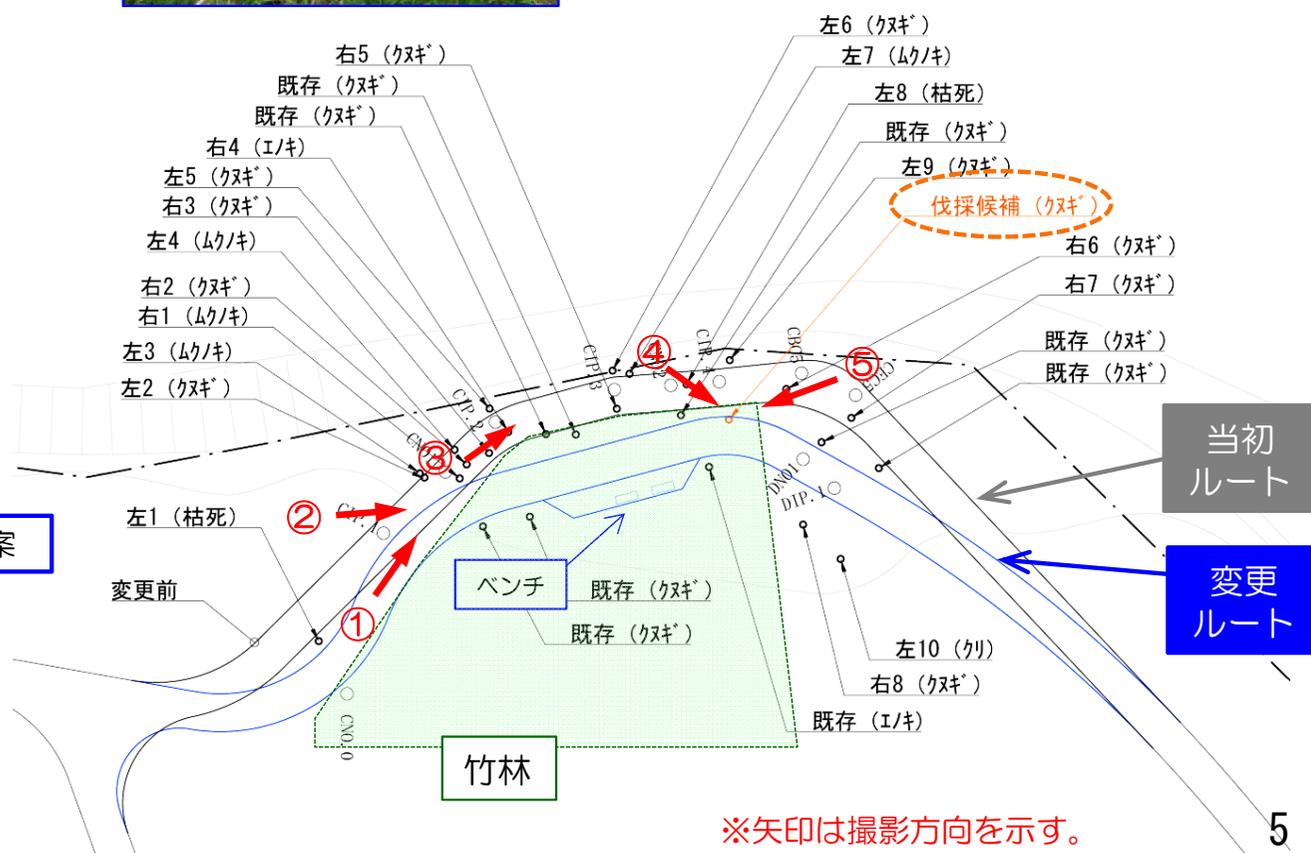
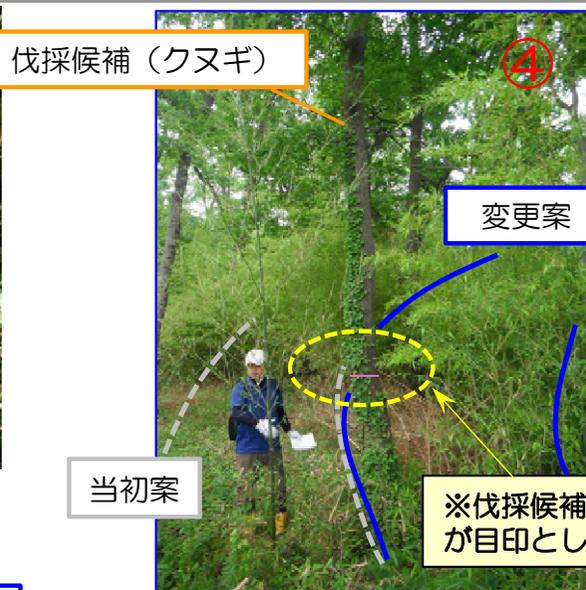
変更ルート案（下右図の青色線）

- 竹林内を通すことで、可能な限り伐採する予定の樹木を減らしました（クヌギ1本を伐採候補）。
- 当初案より水際部と通路との距離は長くなりましたが、下草を刈り見通しを良くすることで水面を見ることができます。



中池の管理用通路の工事について

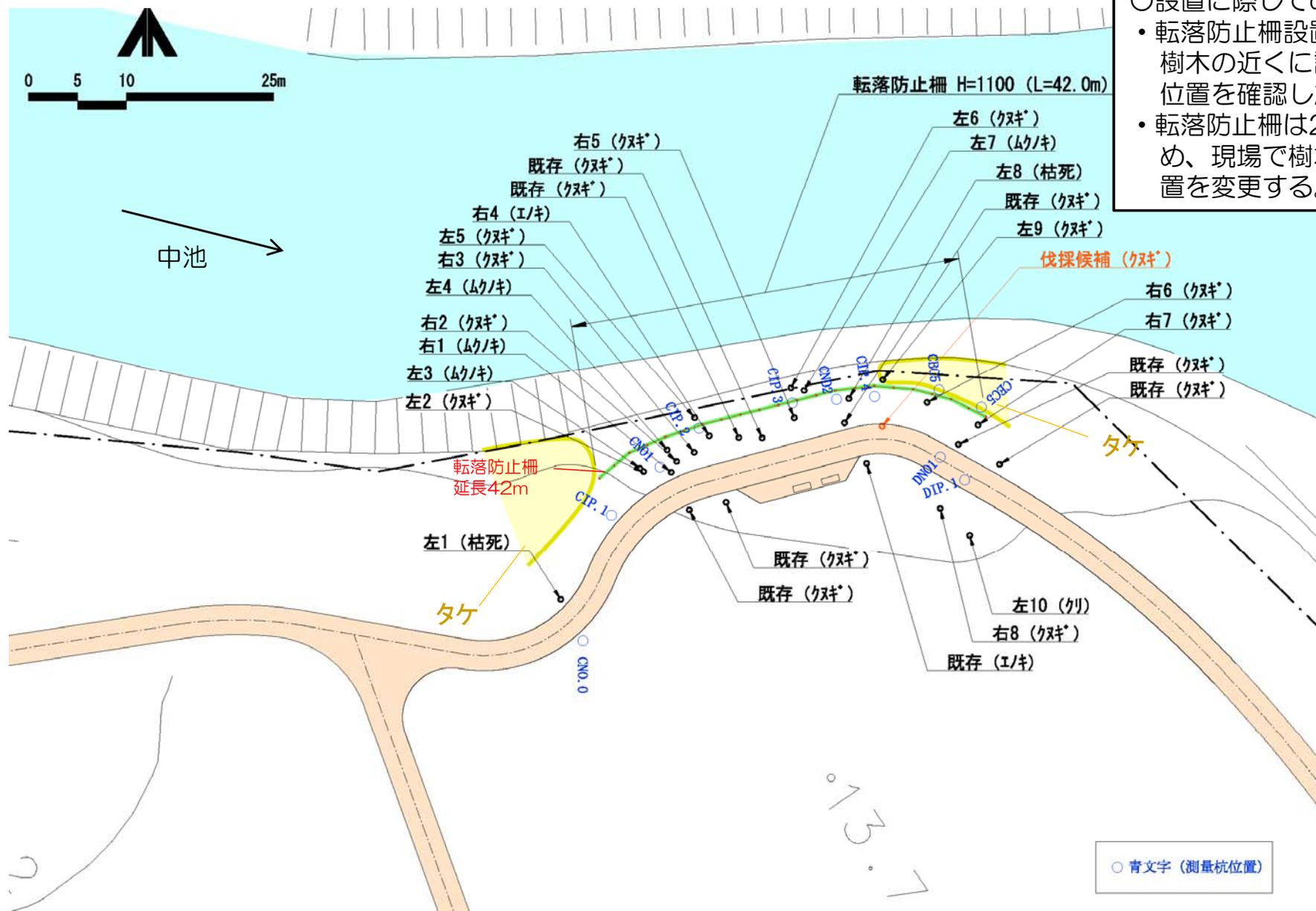
現地状況



中池の管理用通路の工事について

○転落防止柵の設置位置

河畔林を伐採しない転落防止柵の設置位置として水際のルート設定とします。



○設置に際しての留意点

- ・転落防止柵設置に際しての留意事項
樹木の近くに設置する場合は、根の位置を確認した上で設置する。
- ・転落防止柵は2m単位で設置できるため、現場で樹木を避けるよう適宜位置を変更する。

中池の管理用通路の工事について

転落防止柵の設置イメージ



②



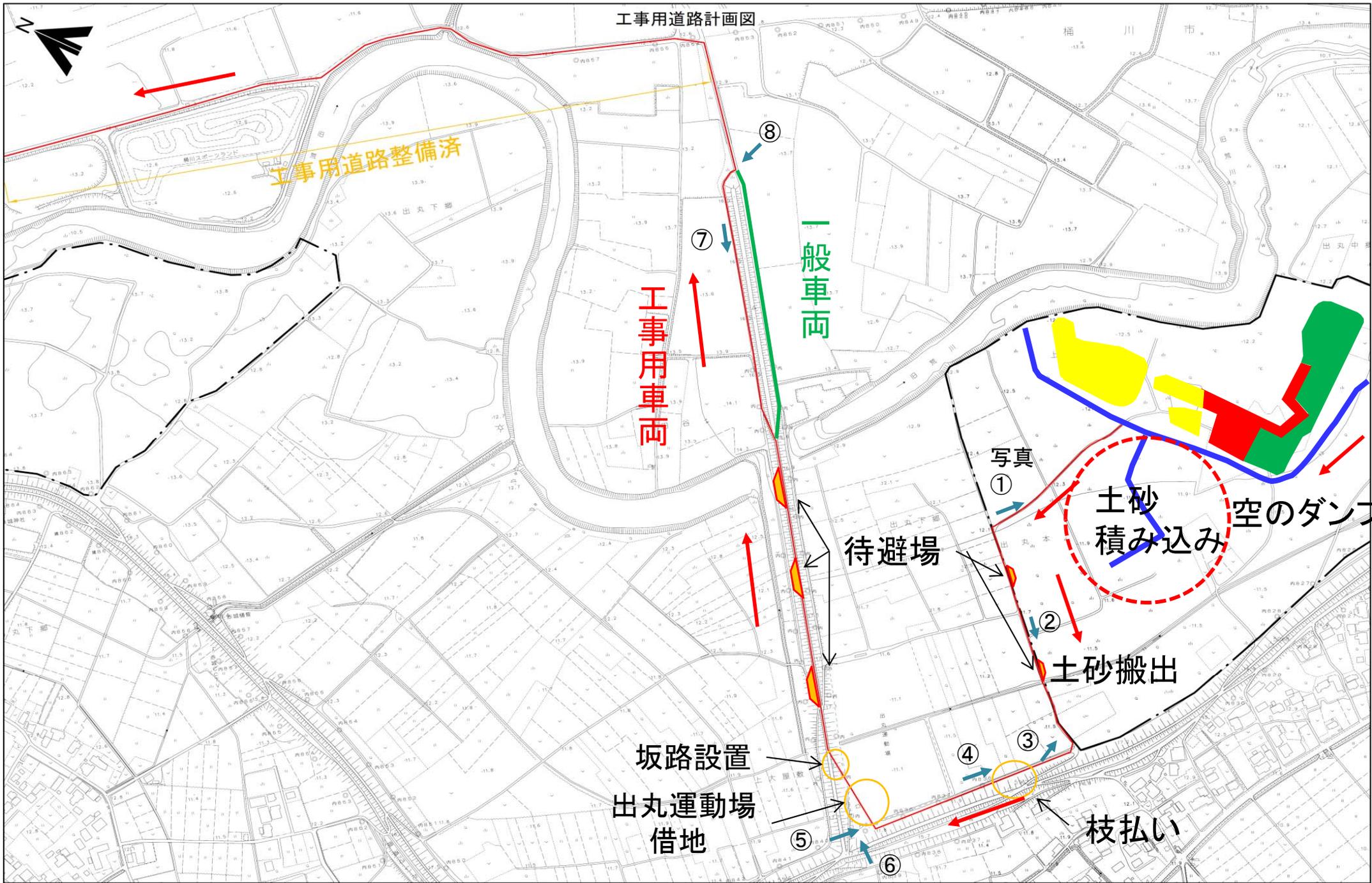
①



③



下池河畔林整備の工事の運搬路について



①



枝払い

除草
拡幅
待避場設置

②

枝払い

待避場設置
300mに1カ所程度

③

坂路幅員は2.6mで
10tダンプの通行不可
のため、法尻を運搬路
として整備する。

碎石舗装 or 敷鉄板



④



⑤

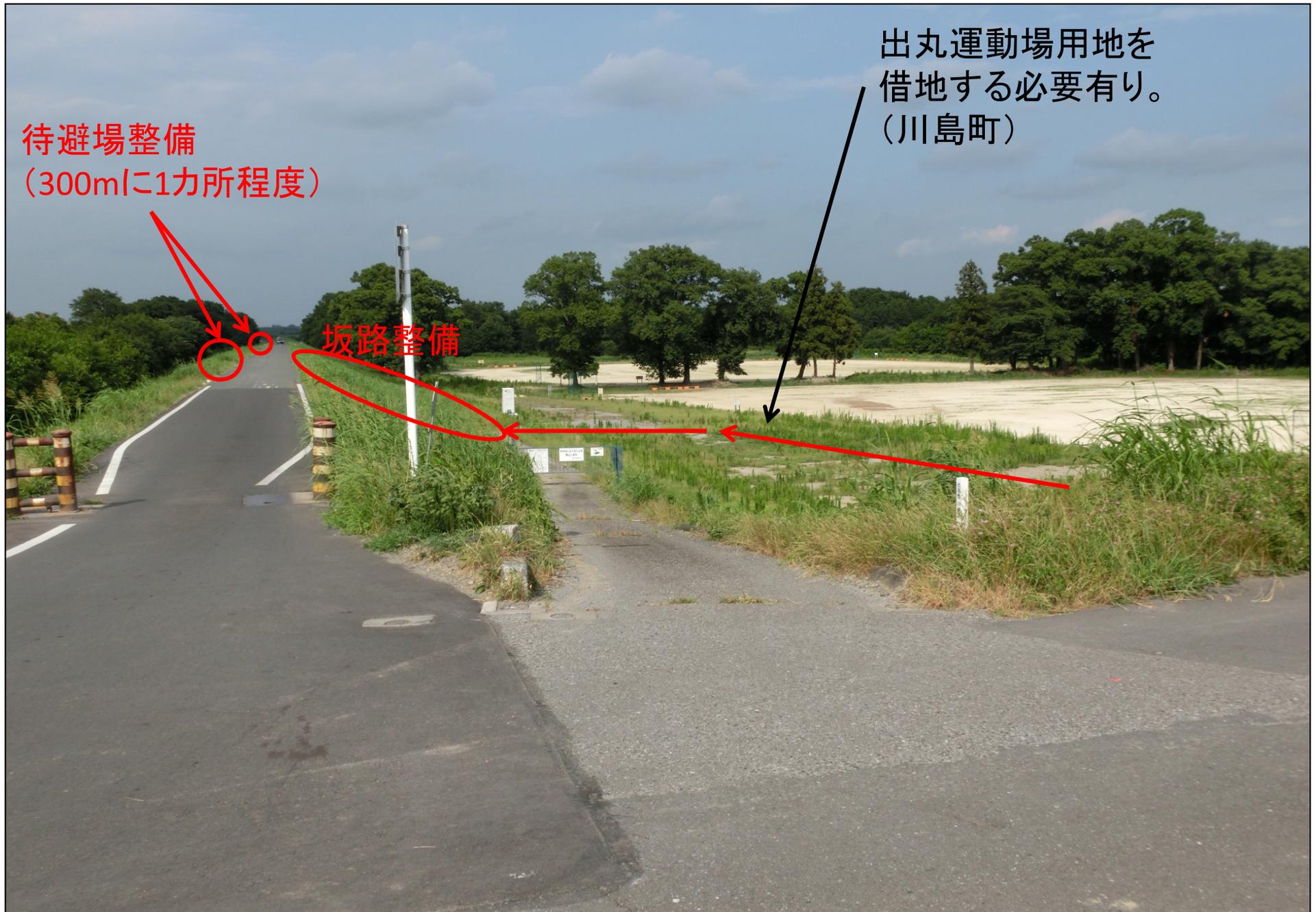
出丸運動場用地を借地する必要有り。(川島町)

枝払い

碎石舗装
or 敷鉄板



⑥



7



50cm程度拡幅

工事用車両のルート

⑧

10tダンプが通れるように整備
除草、根固め等撤去、碎石舗装

